

操作説明書

健診標準フォーマット変換ツール (POST.ex) ver2.2

目次

1	初期設定	2
2	変換手順	3
3	エラー対処方法.....	8
3. 1	マスタ変換エラー対処方法	9
3. 2	業務エラー対処方法	10
4	相関チェック.....	11
5	システムに関するお問合せ等	13

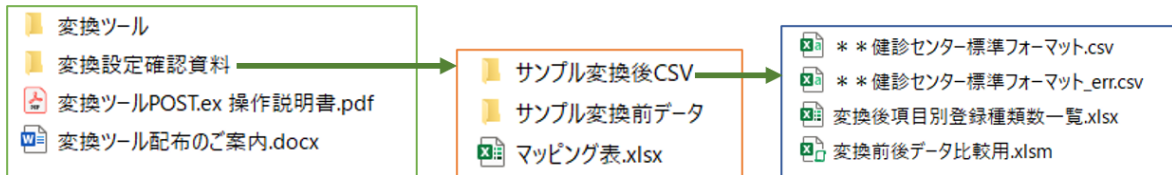
1 初期設定

(1) 健診標準フォーマット管理事務局（以下、管理事務局）から各健診機関に

「**変換ツール**」「**変換設定確認資料**」の2種類のフォルダと操作マニュアル等が送られます。

PC端末のデスクトップや任意で作成したフォルダへ保存してください。

(2) フォルダ内の構成は以下の通りです。



「変換ツール」

→ 健診標準フォーマット変換ツール（以下、「POST.ex」という）が格納されています。

「変換設定確認資料」

→ 変換設定した内容のサンプル元データフォルダとサンプル変換後CSVフォルダとマッピングファイルが格納されています。

「変換ツールPOST.ex操作説明書」

→ 本資料です。変換時に参照してください。

「変換ツール配布のご案内」

→ 「POST.ex」へのログイン情報を記載しています。

「サンプル変換後CSV」

→ 変換後の標準フォーマットファイルと変換処理時のエラーファイル（末尾にerrと表示）が格納されています。

「変換後項目別登録種類数一覧」

→ 今回の変換データ各項目に登録されたデータの種類の種類が集計されています。
初めて「POST.ex」を使用する際には一度ご確認ください。

(3) 「**変換ツール**」フォルダにある「**ショートカット作成_Ver2.1.vbs**」をダブルクリック

してください。「POST.ex」のショートカットがデスクトップに作成されます。



2 変換手順

(1) 「POST.ex」のショートカットをダブルクリックして起動します。

(2) IDを入力してください。

(3) パスワードを入力してください。

※ID・パスワードについては別紙「**変換ツール配布のご案内**」を参照してください。

(4) 「ログイン」ボタンをクリックします。



健診標準フォーマット変換ツール
POST.ex
Preparation tool for standard exchange

健診機関 ○○健診センター

ID

(2)

Pass

(3)

(4)

(5) メイン画面が表示されます。

(6) 定義ファイルを指定します。

定義ファイルは自動で指定されます。複数ある場合には参照から選択してください。

(7) 変換前ファイルを指定します。

変換する CSV ファイルのあるフォルダを個別に指定することが可能です。

「1. 初期設定」で設定した「サンプル変換前データ」のフォルダである必要はありません。

(8) 変換後フォルダの出力フォルダを指定します。

変換後データファイルを出力するフォルダを個別に指定することが可能です。

「1. 初期設定」で設定した「サンプル変換後CSV」のフォルダである必要はありません。

(9) 「コンバート」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the main interface of POST.ex. At the top left is the logo and name 'POST.ex'. At the top right is a 'ログアウト' (Logout) button and the user ID 'ID: test'. Below the header is a grey bar with the text 'メイン画面' (Main Screen). The main content area contains several input fields and buttons:

- A dropdown menu for '定義ファイル' (Definition File) with the value '1234567890_〇〇健診センター' and a blue callout '(6)' to its right.
- An input field for '変換前ファイル' (Conversion Before File) containing a template path, with a '参照' (Reference) button and a blue callout '(7)' to its right.
- An input field for '変換後フォルダ' (Conversion After Folder) containing a template path, with a '参照' (Reference) button and a blue callout '(8)' to its right.
- A progress indicator '0/0' and an orange 'コンバート' (Convert) button with a blue callout '(9)' to its right.
- A large empty text area below the inputs.
- An orange 'エラー詳細' (Error Details) button at the bottom center.

(10) コンバート完了ウィンドウが表示されます。

コンバート件数がコンバートボタンの左に表示されます。

下の例では 220 件中、220 件の処理が終了したことを示しています。

(11) 「OK」をクリックします。

(12) 処理内容がウィンドウの中に処理内容が表示されます。

変換作業中にエラーがあれば件数が表示されます。

下の例では → 「エラー件数：2」と表示されています。

(13) 「エラー詳細」ボタンをクリックし、エラー内容の確認を行います。

POST.ex

ログアウト

ID: admin

メイン画面

定義ファイル 1234567890_〇〇健診センター 確認

変換前ファイル C:\temp\postex\in\1234567890_〇〇健診センター_テストデータ.csv 参照

変換後フォルダ C:\temp\postex\out (10) 参照

220/220 コンバート

POST.ex

コンバートが完了しました。

OK

(11)

(12)

2018/01/17 9:36:24 後処理定義ファイル読込完了
2018/01/17 9:36:24 エラー定義ファイル読み込み開始
2018/01/17 9:36:26 エラー定義ファイル読み込み完了
2018/01/17 9:36:26 変換マスタ読み込み開始
2018/01/17 9:36:26 変換マスタ読み込み完了
2018/01/17 9:36:26 入力ファイル読み込み開始
2018/01/17 9:36:26 コンバート開始...
2018/01/17 9:36:28 出力件数:220
2018/01/17 9:36:28 エラー件数:2
2018/01/17 9:36:28 出力ファイル:1234567890_〇〇健診センター_20180117093620.csv
2018/01/17 9:36:28 エラーファイル:1234567890_〇〇健診センター_20180117093620_err.csv
2018/01/17 9:36:28 コンバート完了

(13)

エラー詳細

(14) エラーの内容が表示されます。エラー詳細ファイルに出力されています。

(15)

行番号	項目番号	項目名称	エラー種別	エラー内容	結果値
-	570	<特定>生活習慣改善...	マスタ変換エラー	マスタ変換できません...	-
217	234	血液一般・赤血球数	業務エラー	入力範囲外結果値で...	234:血液一般・赤血球数(704)

エラーファイル: C:\temp\postex\out\1234567890_〇〇健診センター_20180117-093620\1234567890_〇〇健診センター_20180117093620_err.csv

(15) 変換時のエラーの内容が示されています。

行番号：処理対象となった行番号です。行番号が示されない場合には別の問題です。エラー内容を確認してください。

項目番号：変換対象となる項目番号です。同時に項目名称が表示されます。

エラー種別：「3. エラー対処方法」(8 ページ)を参考にしてください。

エラー内容：エラーの内容が示されています。

結果値：カッコ内の数字が入力範囲チェックを超えていることを示しています。

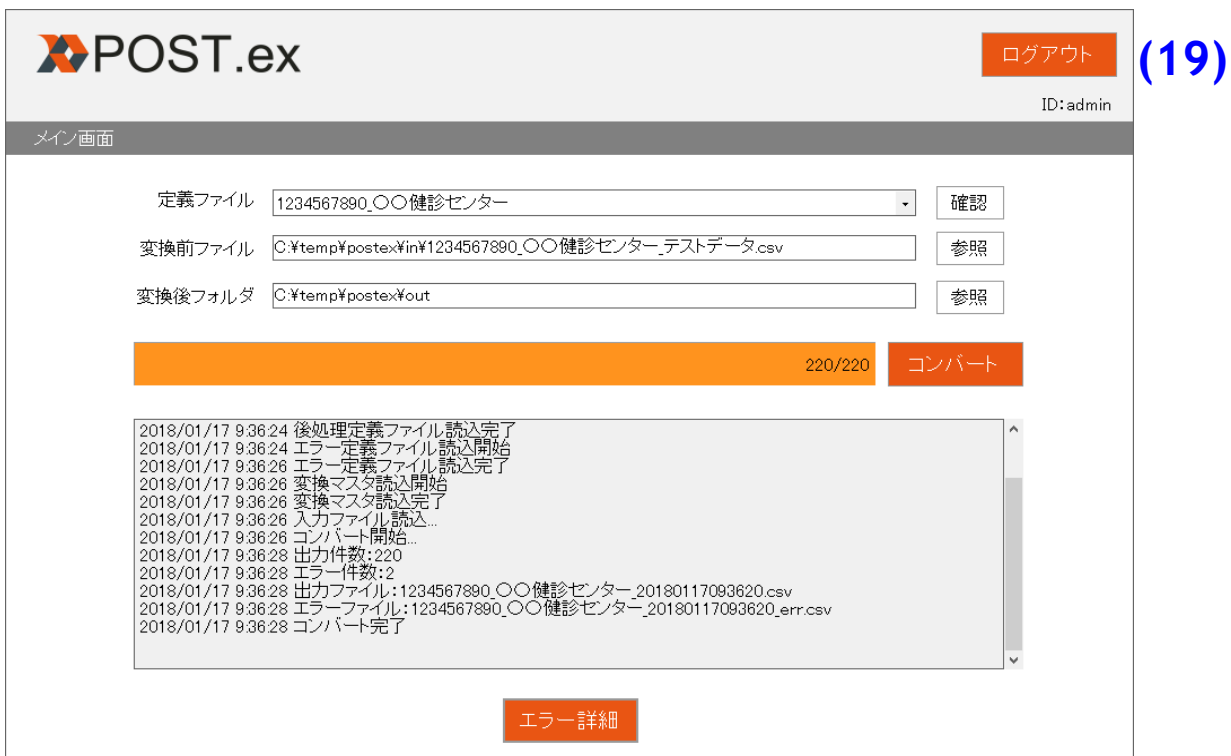
(16) エラーの内容を確認し、「閉じる」ボタンでエラー一覧を閉じます。

(17) (8) で指定したフォルダに変換処理した日時のフォルダが作成され、

「エラー詳細 CSV」と「変換後 CSV」の2 ファイルが出力されています。

(18) エラーとなった場合、変換後 CSV には変換前データが出力されています。

(19) 「ログアウト」ボタンをクリックして、ログイン画面に戻ります。



The screenshot shows the main interface of the POST.ex tool. At the top left is the logo and name "POST.ex". At the top right is a "ログアウト" (Logout) button and the text "ID: admin". Below this is a "メイン画面" (Main Screen) header. The main area contains three input fields: "定義ファイル" (Definition File) with a dropdown menu showing "1234567890_〇〇健診センター", "変換前ファイル" (Before Conversion File) with a text input "C:\temp\postex\in\1234567890_〇〇健診センター_テストデータ.csv", and "変換後フォルダ" (After Conversion Folder) with a text input "C:\temp\postex\out". To the right of each field is a button: "確認" (Confirm), "参照" (Reference), and "参照" (Reference). Below these fields is a progress bar showing "220/220" and a "コンバート" (Convert) button. A log window below the progress bar displays the following text:

```
2018/01/17 9:36:24 後処理定義ファイル読み完了
2018/01/17 9:36:24 エラー定義ファイル読み開始
2018/01/17 9:36:26 エラー定義ファイル読み完了
2018/01/17 9:36:26 変換マスタ読み開始
2018/01/17 9:36:26 変換マスタ読み完了
2018/01/17 9:36:26 入力ファイル読み...
2018/01/17 9:36:26 コンバート開始...
2018/01/17 9:36:28 出力件数:220
2018/01/17 9:36:28 エラー件数:2
2018/01/17 9:36:28 出力ファイル:1234567890_〇〇健診センター_20180117093620.csv
2018/01/17 9:36:28 エラーファイル:1234567890_〇〇健診センター_20180117093620_err.csv
2018/01/17 9:36:28 コンバート完了
```

At the bottom center is an "エラー詳細" (Error Details) button.

(20) 「終了」ボタンをクリックして、ツールを閉じます。



The screenshot shows the login screen of the POST.ex tool. At the top left is the logo. To the right of the logo is the text "健診標準フォーマット変換ツール" (Health Check Standard Format Conversion Tool), "POST.ex", and "Preparation tool for standard exchange". Below this is the text "健診機関" (Health Check Institution) followed by a dropdown menu showing "〇〇健診センター". Below the dropdown are two input fields: "ID" and "Pass". At the bottom are two buttons: "ログイン" (Login) and "終了" (End). The number "(20)" is displayed in blue on the right side of the screen.

(21) 以上でファイル変換処理は完了です。

3 エラー対処方法

エラーの種類によって対処方法が異なります。

- (1) コンバートが完了せず、途中でエラーメッセージが表示された場合はシステム管理者あるいは管理事務局（巻末参照）に連絡してください。
- (2) まれにウイルスソフトの関係でコンバート処理開始とともに「このプログラムをブロックしますか？」のメッセージが出る場合があります。許可を選択してください。
- (3) コンバートは完了したが、エラー一覧にエラーがある場合

エラーの種類は以下の5種類です。

- ・ 変換時システムエラー → システム管理者あるいは管理事務局へ
- ・ エラーチェック時システムエラー → システム管理者あるいは管理事務局へ

- ・ 後処理時システムエラー → システム管理者あるいは管理事務局へ

- ・ マスタ変換エラー → 3. 1 マスタ変換エラー対処方法へ

- ・ 業務エラー → 3. 2 業務エラー対処方法へ

3. 1 マスタ変換エラー対処方法

マスタ変換エラーとは、コード変換できない結果値があることが考えられます。

- 変換前データの誤りがある場合。
 - * その結果値を修正して再度変換処理を行ないます。
- 変換マスタにない結果値が変換前元データに含まれている場合
 - * 結果値は「*（結果値）」となって出力されています。標準名称マスタに変換対応値がないことを意味しております。誤りでない場合には変換マスタの追加が必要となりますので管理事務局に連絡してください。個別に標準名称に変更していただければ幸いです。

（画像所見名称については現段階では、完全なマスタ変換対応はできておりません。継続的に協議会において検討を重ねてまいりますので、管理事務局までご一報をいただきたく存じます。皆様のご協力をお願いいたします。）

3. 2 業務エラー対処方法

レコード仕様書の定義に違反していることが考えられます。

(1) 「入力範囲外結果値です。」

その項目の結果値が「異常なはずれ値」である場合です。

その項目の変換前元データの結果値に間違いがないか確認します。

- ・ 間違いのないようであればエラーは無視します。
- ・ 誤りである場合には変換前元データの結果値を修正し再度変換処理します。
- ・ 予め健診機関ごとに標準フォーマット指定の単位でない項目については変換処理時に換算するよう設定されています。
- ・ エラーの原因が単位換算によるもの場合には管理事務局に連絡してください。
必要に応じ換算式の変更等をおこないます。

(2) 「文字結果値でなければなりません。」

結果値が所見名称等文字結果値でなければならない項目に数値のみ結果である場合です。

名称でなければならぬところ、コードが入力されている可能性があります。

その場合には変換前元データの結果値を名称に修正し再度変換処理します。

(3) 「関連エラーです。」 (4 関連チェック参照)

複数の項目の結果値に関連があるような項目で、その相関式に合わない場合です。

エラーメッセージにある関係項目の結果値を確認します。

間違いのないようであればエラーは無視します。

誤りである場合には変換前データの結果値を修正し再度変換処理します。

(4) 「最大文字数 [256] 以降を切り捨てました。」

総合コメント以外の各種所見結果などを含め文字結果項目については、

厚労省仕様に順じまして文字数を制限しています。

256バイト（全角128文字）までとし、それを超えるような結果値は切り捨てで

対応させていただきます。

4 関連チェック

関連チェックは以下のように設定されています。（健診標準フォーマット ver1.02）

身体計測関係

- $[BMI] = [体重] / ([身長(m)] * [身長(m)]) \pm 0.2$
- $[腹囲] > [BMI]$
- $[収縮期血圧] > [拡張期血圧]$

血液一般検査関係

- $[赤血球数] = [ヘマトクリット値] / [MCV] \times 1000 \pm 20$
- $[ヘモグロビン値] = [赤血球数] * [MCH] / 1000 \pm 2$
- $[ヘマトクリット値] = [赤血球数] * [MCV] / 1000 \pm 5$
- $[MCV] = [ヘマトクリット値] / [赤血球数] \times 1000 \pm 10$
- $[MCH] = [ヘモグロビン値] / [赤血球数] \times 1000 \pm 10$
- $[MCHC] = [ヘモグロビン値] / [ヘマトクリット値] \pm 10$
- $96.0 = < ([好中球] + [リンパ球] + [単球] + [抗酸球] + [抗塩基球] + [異型リンパ球] + [骨髄球] + [後骨髄球]) = < 101$
- $96.0 = < ([桿状核球] + [分葉核球] + [リンパ球] + [単球] + [抗酸球] + [抗塩基球] + [異型リンパ球] + [骨髄球] + [後骨髄球]) = < 101$

生化学検査関係

- $[アルブミン] = [A/G比] * [総蛋白] / (1 + [A/G比]) \pm 0.5$
- $[A/G比] = [アルブミン] / ([総蛋白] - [アルブミン]) \pm 0.2$
- $([蛋白分画 \cdot アルブミン] + [蛋白分画 \cdot \alpha 1 グロブリン] + [蛋白分画 \cdot \alpha 2 グロブリン] + [蛋白分画 \cdot \beta グロブリン] + [蛋白分画 \cdot \gamma グロブリン]) = 100$
- $[総ビリルビン] > [直接ビリルビン]$

- [総コレステロール]=>([H D Lコレステロール]+[L D Lコレステロール])or([H D Lコレステロール]+[L D Lコレステロール(Friedewald 式)])
- [non-LDL コレステロール] =[総コレステロール]- [H D Lコレステロール]
- [L D Lコレステロール(Friedewald 式)]=[総コレステロール]-[H D Lコレステロール]-([中性脂肪]/5)

問診関係

- [既往歴区分]="特記事項あり"→[既往歴病名]="空白でない"
- [自覚症状区分]="特記事項あり"→[自覚症状]="空白でない"
- [他覚所見区分]="特記事項あり"→[他覚所見]="空白でない"

以上

5 システムに関するお問合せ等

システムの動作環境

実行環境には Microsoft 社の .NET Framework 4.7 が必要になります。

(Windows10 以上、または個別にインストールしてある場合は不要です。)

ソフトウェアの使用許諾

POSTex は健診標準フォーマット管理事務局が製造したものです。ソフトウェアは健診施設に向けて無償で使用許諾しており、健診標準フォーマット管理事務局より配布されます。なお、このソフトウェアを使用することで P C に損害が発生してもいかなる責任も負いません。

連絡先等

健診標準フォーマット管理事務局

メール : staff@postex.jp

電話 : 03-6380-9220

(不在時 ; 留守録してください。 緊急時 ; 090-2229-1770 窪寺)